

|              |                         |            |      |
|--------------|-------------------------|------------|------|
| <b>授業科目名</b> | 語学・文学総合演習（国文学）(2100257) |            |      |
| <b>時間割名</b>  | 語学・文学総合演習（国文学）(24109)   |            |      |
| <b>時間割担当</b> | 阿尾あすか                   |            |      |
| <b>実施期</b>   | 後期                      | <b>単位数</b> | 2 選択 |
| <b>曜日・時限</b> | 火・4                     |            |      |

### 授業の目標・概要

中学高等学校の国語教師としての国語に対する応用力・実践力を高めることを目的とする。鎌倉時代後期の伏見天皇の皇妃であった永福門院の『永福門院百番自歌合』の四季の歌を中心に取り上げる。演習形式で行い、古語文法に留意しながらの和歌及び韻文の解釈を学生に担当させ、授業で他の受講生との検討を行ってより深い鑑賞を行う。実践として、実作を課すこともある。

### 学習の到達目標

- ・古典の正確な解釈と作品鑑賞を深める
- ・古典の基本的な情報処理方法や資料の扱い方を習得する
- ・毛筆文献（書道）への理解を深める

### 授業方法・形式

1. それぞれの学習テーマに対して、テキストや補助資料を活用しながら授業を進めていく。
2. 取り上げるテーマに関するディスカッションを行う。

### 授業計画

- 第1回 ガイダンス 永福門院の生涯について、古典に関する情報処理の方法、資料の扱い方などについて学ぶ。
- 第2回 模範発表 教員による模範発表、資料の作成方法などを学ぶ。
- 第3回 演習 学生による、『永福門院百番自歌合』三番の発表を行い、討議する。
- 第4回 演習 学生による、『永福門院百番自歌合』四番の発表を行い、討議する。
- 第5回 演習 学生による、『永福門院百番自歌合』五番の発表を行い、討議する。
- 第6回 演習 学生による、『永福門院百番自歌合』十一番の発表を行い、討議する。
- 第7回 演習 学生による、『永福門院百番自歌合』二十一番の発表を行い、討議する。
- 第8回 演習 学生による、『永福門院百番自歌合』二十二番の発表を行い、討議する。
- 第9回 演習 学生による、『永福門院百番自歌合』二十六番の発表を行い、討議する。
- 第10回 演習 学生による、『永福門院百番自歌合』三十一番の発表を行い、討議する。
- 第11回 演習 学生による、『永福門院百番自歌合』三十二番の発表を行い、討議する。
- 第12回 演習 学生による、『永福門院百番自歌合』三十四番の発表を行い、討議する。
- 第13回 演習 学生による、『永福門院百番自歌合』三十五番の発表を行い、討議する。
- 第14回 演習 学生による、『永福門院百番自歌合』四十九番の発表を行い、討議する。
- 第15回 演習 学生による、『永福門院百番自歌合』五十九番の発表を行い、討議する。

### 成績評価の基準

授業で担当した演習部分の発表と質疑・討論の内容で評価する。（60％）さらに学期末のレポートにおいて総合的な理解を確認する。（40％）

### 授業時間外の課題

1. テキストや参考書、授業中に配布したプリントをよく読み、十分に理解すること。
2. 詠われた自然の情景をイメージするために、普段から身の回りの四季の情景、動物や植物などに留意して生活すること。
3. 和歌から得られたイメージを文章にしてノートに書き、推敲してみる。

### メッセージ

### 教材・教科書

岩佐美代子著『古典ライブラリー 永福門院 飛翔する南北朝女性歌人』（笠間書院）や、小林守著『コレクション日本歌人選 永福門院』（笠間書院）、『歌ことば歌枕大辞典』（笠間書院）、高等学校国語便覧などの参考図書など

### 参考書

岩佐美代子著『古典ライブラリー 永福門院 飛翔する南北朝女性歌人』（笠間書院）や、小林守著『コレクション日本歌人選 永福門院』（笠間書院）、『歌ことば歌枕大辞典』（笠間書院）、高等学校国語便覧などの参考図書など